

## 今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2015年8月31日]

### 9月の農業情報

**タイトル** 堆肥の適正な活用を、田原市で初の土づくり講演会！

**とき** 平成27年8月4日(火)

**ところ** 田原市渥美文化会館文化ホール

**主体・対象** 田原市環境保全型農業推進協議会(県、市、JA、代表農家で構成)他

#### 内容

田原市では安心・安全な農産物の供給産地として、新たに「目指そう日本一の土づくり『田原市』」をスローガンに掲げている。その一環として同協議会が「土づくり講演会」を初めて開催し、JA生産部会員や農業関係団体等約300人が聴講した。東京農業大学名誉教授で全国土の会会長の後藤逸男氏を講師に招き、「土づくりの基本はこれだ」と題して土壌中のリン酸の過剰化、家畜ふん堆肥の適正な使用方法、土壌診断により適正な施肥等について、全国や田原市の事例をもとに改善方法の説明があった。参加者は土づくりを見直す機会として熱心に聴講していた。

現在、農業改良普及課は緑肥としての晩抽性のソルゴーの効果を検討している。慣行品種より粗大有機物の投入量が増える、太い根が深く張るので排水性の改善効果が高い、生育期間が長いので雑草の抑草期間が長い等の利点が明らかになりつつある。これらの結果をまとめて、関係機関と連携し「土づくり」の支援を行う。



熱心に聴講する参加者